

日刊 動労千葉

86. 1. 14
No. 2139

いざ出陣第二波へ 団結旗びらき

一月十一日、動労千葉の団結旗開きは、五二〇名の結集をもって大成功をかちとった。第一部の中野委員長の基調講演にひきつづき、第二部では来賓の方々の連帯のあいさつ、恒例の支部対抗歌合戦が行われ、なごやかな交歓の中にも第二波・第三波闘争へ決起する決意を打ち固めるものとなった。

動労千葉を支え共に闘う — 各界より連帯のあいさつ —

第二部は、吉岡執行委員の司会で始まり、連帯のあいさつが行われた。

最初に、県労連の井原議長は「果敢な闘いを評価している。今日の意志結集でがんばってはいい」と述べられた。(県労連井原議長)

つづいて、三里塚芝山連合空港反対同盟の北原鉞治氏、小川嘉吉氏、鈴木幸司氏、郡司とめさん、加藤俊宣氏、秋葉恵美子さん、宮本衛君の各氏が盛大な拍手の中、壇上にあがられ、紹介の後、代表して北原事務局長から「動労千葉と連帯して闘ってきたことの正しさを確信した。八六年も勝利しよう。3・30全国集会を共に闘おう」との訴えがされた。



輝東実世話人は「真



(浅田氏)



(永井氏)

辺に多くの労働者を結集させよう」と呼びかけられ、関西実行委を代表して、永

の労働運動の実現にむけ、動労千葉の周

井満氏は、「動労千葉の闘いが全人民の闘いを切り拓く。がんばって下さい」と三五万円のカンパを中野委員長に手渡された。

高島喜久男一億円基金幹事は「動労千葉が本当に中曽根の政治と闘いうる力をもっていることを示した。今年の闘いに期待する」と述べられ、葉山岳夫動労千葉顧問弁護士は「動労千葉の勝利は三里塚の勝利、共に闘う」と決意表明された。



葉山岳夫



(高島氏)

さらに、長谷川英憲元杉並区議のあいさつを受け、多数寄せられた



長谷川英憲



小西三智空



檄電、メッセージが紹介された後、中野委員長が会場中央で鏡

割りを行い、関川顧問の音頭で乾杯し、本部書記局、津田沼支部有志による心づくしの料理をさかなに酒宴がはじまった。

第二部のメインは、各支部対抗歌合戦だ。夫婦が熱唱(成田)し、親子(木更津)による「メダカの学校」に他の子も加わり、各支部代表が自慢のノドを聴かせた。審査の結果、次の方々に賞品が贈られた。

優勝・吉野一昭・千葉転「ホテル」準優勝・加藤岡英夫・幕張「東京の灯よいつまでも」



「分割・民営化」阻止、業務移管不当処分粉砕=第2波への決意の一撃……おみごと!



三位・川口和義・銚子「足でまとい」特別賞・高野隆、夫妻(成田) 山田護、父子(木更津)

家族ぐるみでいざ第二波へ 熱気あふれる旗開きも十七時、山口副



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ!

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)(公衆)〇四七二(22)七二〇七